

実践事例概要

(No. 1)

2015/03/21

校種、教科領域	公立・私立・ 民間 小・中・高・特支・ その他 教科 ()・道徳・総合的な学習の時間・ その他
所属、連絡先	(在：英国) 嘉悦ケンブリッジ教育文化センター URL: www.kaetsu.co.uk The Kaetsu Educational & Cultural Centre 住所 Huntingdon Road Cambridge CB30SH TEL 44(0)1223 376600 担当 ロバーツ平 浩子
実践事例名称	英国 嘉悦ケンブリッジ教育文化センター主催 Japan Day 2015 「 One Blue Sky - A poem from Okinawa 」 「沖縄戦に関する展示」
概要	<p>2015年3月7日(土)、英国ケンブリッジにある嘉悦ケンブリッジ教育文化センターが主催した「Japan Day 2015」における活動。イベント全体では600名の来場者。平成26年度児童・生徒の平和メッセージ展、詩の部門小学校低学年最優秀作品、増田健琉君作「空はつながっている」を、事前に協力者を募って8カ国語(英、中、仏、独、スペイン、アラビア、韓国、ヘブライ)に翻訳をおこなった。当日のプログラムの中では、「One Blue Sky-A poem from Okinawa」と題して、日本語を含めて6カ国語で朗読がおこなわれた。国籍も宗教も違う9名の朗読者たちが、ひとつの詩を朗読する事を通して、沖縄発「平和の詩」への共感が広がっていった。沖縄の平和を希求する心が、国籍・宗教の違いを超えて広がることができた。</p> <p>関連催事として、当資料館「平和学習キット(A、D)」の展示もおこなわれた。Aセットは、ジャパンデー当日に、Dセットは、同センター図書室で毎週土曜日に行われている「しらす文庫(日本語を話す子供達のための読み聞かせ会)」にて紹介された。「平和学習キット」の海外への貸出は、当館にとって初の試みである</p> <p>イギリスでは一般的に中学校の歴史の時間に、「沖縄戦、東京大空襲、ヒロシマ、ナガサキ」が紹介されているようである。朗読前におこなった沖縄戦の説明では、その規模の大きさと被害者(特に民間人)の多さに驚いているようであった。展示では、「方言札にショック」という感想や、算数の教科書、戦車や飛行機が扱われていることなど、教育現場における戦時色に怖さを感じるという感想もあった。沖縄戦後、米国の占領化にあったことや沖縄から本土へ渡航証が必要であったことにも驚く観覧者もいたとのこと。平和の礎にもイギリス兵犠牲者82名が刻銘されているが、そのことについて、イギリス国内においてほとんど知られていないというのが現状である。今後、沖縄戦に関して、もっと知ってもらうことが大切である。</p>
添付資料	○嘉悦ジャパンデー2015要項 ○当日の写真 14点 ○概要(メール資料)
当館との連携	○児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品「平和の詩」掲載(多言語訳、朗読) ○貸出資料「平和学習キット(A、D)」貸出(展示) ○DVD「沖縄戦の証言」
シェアリングにおける視点	○外国語活動、○国際理解教育、○多文化社会・共生社会 ○近現代史(第二次世界大戦及び現代史)